

層雲峠 ビジターセンター



【 層雲峠大函・1月 】

層雲峠の大函周辺には小規模な滝や沢水が流れ込み、気温の低下とともに氷柱や氷壁が形成されます。これらの氷は融解と凍結を繰り返しながら日々成長し、冬の層雲峠を象徴する自然景観のひとつとなっています。規模は大きくありませんが、峡谷の地形と相まって、冬ならではの特徴的な氷の造形を観察できます。

層雲峠の峡谷は、数十メートルを超える切り立った断崖が延々と続き、まるで巨大な岩の回廊のような地形をつくり出しています。谷底は一年を通して日光が差しこみにくく、冷たい空気が滞留しやすいため、周囲の気温は平地よりも低く保たれます。こうした独特の環境が、周辺を流れる滝や湧き水を冬には一気に凍らせ、層雲峠ならではの壮大な氷瀑や氷柱を生み出す要因となっています。

今年は12月に気温が上がった影響で、氷瀑の一部がいったん溶けてしましました。しかし、1月に入って再び冷え込みが強まり、氷はしっかりと凍り直しました。ここ数年は暖冬傾向が続いていましたが、今冬は久しぶりに層雲峠らしい厳しい寒さが戻ってきたようです。

銀河・流星の滝の氷瀑

層雲峠では、冬の厳しい冷え込みと峡谷特有の地形条件が重なり、毎年大規模な氷瀑が形成されます。

銀河・流星の滝をはじめ、落差のある滝が多い層雲峠は氷瀑が安定して発達する国内有数の地域です。

観光客が「こんな景色は見たことがない」と驚くのも当然で、世界中に氷瀑ができる滝はありますが、この規模の氷瀑が毎年安定して見られる場所は、実はそれほど多くはありません。

厳しい寒さ、深い峡谷、日差しの入り方、風の流れ—— 層雲峠の氷瀑はそのすべてが揃って初めて生まれます。今年もまた、層雲峠にしかない氷の絶景が姿を現しています。



【銀河の滝】

層雲峠・銀河の滝は、柱状節理の断崖を白糸のように流れ落ちる優美な滝で、「女滝」とも呼ばれます。



【流星の滝】

銀河の滝と対をなす「男滝」と呼ばれる豪快な直瀑で、柱状節理の断崖を力強く落下します。

※流星の滝は水量が多く、完全結氷しにくい形状なのですべて凍ることはできません。

完全氷結が生じる滝は、一般に流量が少なく、落水が微細な飛沫として拡散しやすい形態を示す場合に凍結が進行しやすいとされています。飛散した水滴が外気温の低下により急速に過冷却・凍結を繰り返すことで、水晶が層状に堆積し、氷瀑として発達するメカニズムが形成されます。

層雲峠温泉氷瀑祭り開催中！

層雲峠の冬の恒例行事「層雲峠温泉 氷瀑祭り」が1/24から開催され、層雲峠には多くの観光客が訪れています。50年以上続く歴史と、今も進化し続ける冬の祭典。層雲峠の自然がつくり出す圧倒的なスケールの氷の世界を、ぜひ体感してください。3月8日までの開催となります

